

三隅川発電所廃変圧器からの低濃度 PCB を含む油漏れ事故について

1. 発見日時 平成27年12月17日（木）午前10時40分頃
2. 場 所 浜田市三隅町下古和 三隅川発電所内
3. 事故の状況 三隅川発電所敷地内に屋外保管していた廃変圧器前面の路面上に油膜が見られた。（幅1m×長さ1.5m程度）
場外への流出がないか、周辺及び河川（三隅川）を点検したが、河川等への流出は確認されなかった。
4. 応急処置
 - ・油膜が確認された箇所及び当該機器について、吸着マット等で油膜を処理。
 - ・周辺に拡散しないよう吸着マットにて流出防止策。
 - ・廃変圧器の漏油防止用トレイに溜まった雨水を回収保管（180×5 缶）
5. 検査結果 構内周辺土壌（河川・水路を含む）14検体の成分分析を実施
 - ・周辺土壌（構内・河川内）7か所 = 全て不検出
1か所 = 礫質が多く測定不可
 - ・トレイ内に溜っていた水 5検体 = 1検体のみ 0.0007mg/L
4検体は不検出
 - ・トレイ内に残っていた油 1検体 = 3.7mg/kg

以上の結果から、外部への流出、環境への影響はないものと判断する。

【参考】 PCBに関する基準

- ・人の健康の保護に関する環境基準 検出されないこと。

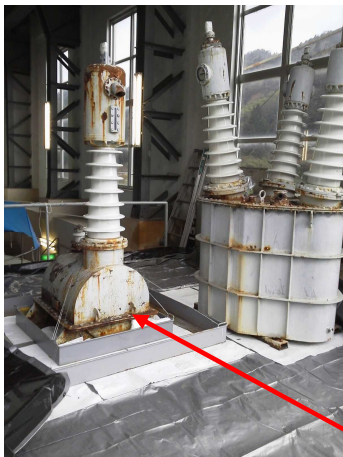
6. その後の対応
 - ・構内の油膜のあったアスファルト部分の剥ぎ取り再舗装
 - ・事故調査委員会を設置（事故原因の究明、再発防止策の策定）
 - ・今後、PCBを含む保管物の早期処分

<状況写真>

1. 発見時の状況（写真1）



- ・12月17日（木）10:40頃 職員が構内に保管していた廃変圧器前（右側機器）の路面に油膜があることを発見しました。（写真1）
- ・油膜を確認した箇所及び機器は吸着マットにより油を除去しました。
- ・廃変圧器の流出防止用トレイに貯まった水は収集し保管しました。
- ・廃変圧器も降雨がかからないよう発電機室屋内に移設保管しました。



（写真2）廃変圧器

2. 対応の状況（写真3）



- ・油膜のあったアスファルト部分についてははぎ取りを行いました。（写真3）
- ・漏洩が発生した廃変圧器、油脂類については早期に処分を行います。